

# ☆ 38回 (仮称) 釜ヶ崎夜間学校

6/25 今夜7時より、「喜望の家」一階として  
 テーマ「釜ヶ崎の歴史」  
 落書きキッズを通して今の釜を見てみる……

これは、落書きキッズとは言えないが、以前ジャンジャン街の入口の所に世相を諷刺した張り紙がしてあって、ちょっとした名物になっていた。

不景気のせいでもあるまいが最近釜の中でも「落書き」が減ったようだが、気がする。傑作なものはないかと思っ、て捜して見ると案外見つからないものだ。

これはどこにあったか今は思い出せないが、文句だけは今でも忘れられない。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校とは……

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を、皆の力で解決してい

いものがある。

「ほんに憎い女手配師は、嘘で固めてオセジでぬめ」と言うものだ。これなどは手配師の性格を見事に言いあてていて傑作の部類に入るものだ。

「落書き」については5月にも一度やったが、今回もう一度、「落書き」を通して、釜ヶ崎をとらえかえして見たいと思う。

仲間の参加を待っています。

く為に、先生と生徒の関係ではなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通して学び考え合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

## 7月の予定

- ※2日(木)病友「健康とは」
- ※9日(木)仕事「原巻と我々」
- ※16日(木)運営「何でも話そう」
- ※23日(木)歴史 未定
- ※30日(木)スライド上映

「フレイジング・バナナ物語」

# (仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

## 第37回 報告 「なんでも話そう。最近の話題」

### 厳しい時ほど

### 仲間づくりを

## まだ仕事がない

二の目契約で行った飯場は、施設はあまり悪くないし居こちが良さそうだったのに、四日目でもう帰ってくれと言われて帰って来た仲間の報告がありました。理由を聞こうとしたが、結局はとりあつてくれなかつたようです。金は一応もらって帰れたのですが、腹がたつてしまふが、ないとのこと。こういう場合は、その場である程度でなければきつと話しをするなりカタをつけることが大切です。後になるとよっぽどむこうが悪質で具体的な罪がない限りどうにもならないことのひとつの例です。ちよつとその時には、しんどくて勇気がいることですが、うまく話をつけれるようにして

おきたいものです。感心したのは、この仲間が出スラ表をきちつとつけていたことです。仕事に出たことを記録することは励みにもなります。

## のさばる人夫出し

またある飯場では、暴行事件が起きています。これは今釜日労が団交をして業者を糾弾しているものですが、全治三ヶ月の打撲という大ケガを受けています。

「金のないもんは足元みられて弱いですわ」

「あしら口ローソクの火口と同じや。自然消滅するだけやし。これは、本当の気持です。しかしもう泣き寝入りではすみません。誰かにゲタをあずける訳にはいきません。大切な生命です。

## 食べるだけでなく 働くことに意味が

仕事がないということは、ただ飯が食えんからしんどいということではありません。仕事をすることともしんどいことですが、働くことができないこととことしんどいこととです。生きることの意味つまり精神の支えがなくなるということ。厳しいときですが、何とかシノイでいきましようや。

みんながつくるみんなのひろば  
〔仮称〕釜ヶ崎夜間学校  
運営委員会準備会

萩の茶屋二ノハノハ・喜望の家  
電話(06)6471-3946  
(毎週木曜日七時〜十時の間)

